

四十二日間の夏休みも終わり、今日から二学期が始まります。私たち三年生は高校受験まであと六か月となりました。

私は、夏休みに入る前「受験生である三年生にとって、この夏休みはどんなものなのか」を考えました。結果、「自分の将来」つまり「人生を左右する夏休み」という考えに至りました。

それからの私は、十五年間の人生の中でこれまでにないほど、勉強に打ち込みました。今ここにいる一、二年生を含め、勉強を好きでやっている人はどのくらいいるのでしょうか。私も勉強は好きではなかったし、「受験」という試練がなければこんなに必死に取り組むことはまずありえませんでした。しかし、この夏で自分の学力不足を取り戻さなければ私の将来はいつまでたっても定まらない。そう思って夏休み中は学校で開かれる補習に自主的に参加しました。三年生の内容だけでは足りないため、一、二年生の復習も徹底して行いました。そのおかげで苦手だった計算や、これまで解けなかった応用問題も解けるようになり、達成感を感じることができました。理由がなければ手を付けられなかった勉強も、今となっては私にとって「楽しいこと」「やりがいのあること」の一つになっています。このことは、この夏の一番の成長ではないかと思います。努力したことで達成感が得られるというのは、本当に素晴らしいと感ずることができました。

そうしてもう一つ、私には乗り越えなければいけない難関があります。それは「実技試験」です。私は将来、自分の特技を生かした職業に就きたいと思っています。そのため、実技試験がある高校を受験し、勉強同様に点数を取らなければなりません。これにはとても苦勞し、今でもなお苦勞し続けています。しかし、自分の好きなことに対する特訓なので気持ちは前向きです。他の人よりもやることが多く、人一倍の努力が必要な私は、夏のせいかを本番で出せるよう、二学期以降もさらに力をつけていけるように頑張りたいです。

さて、いよいよ始まる二学期。私には夏休み以上に頑張りたいことが二つあります。

まず一つ目は継続して努力してきた勉強です。貴重な一時間の授業が無駄にならないよう、積極的に挙手をして内容ごとの理解を深められるようにしたいです。また、苦手な分野から逃げずに勉強し、テストの点数を上げられるよう、ベストを尽くしていきたいと思います。これらは今までの私にはできなかったことです。夏休みの経験を生かし、自分にできる最大の努力を積み重ねていきたいと思います。

そしてもう一つ頑張りたいことは「東中祭」です。私たち三年生にとっては最後の大きな行事です。私はその東中祭に実行委員として臨むこととなりました。学年合唱では三年生の力を見せつけられるよう、練習から一生懸命取り組んで人の心に響く歌声を届けたいです。

また、私のクラスはとことん本番に弱いです。体育祭では目標を達成できず悔しい思いをし、お昼はお葬式のような雰囲気の中ご飯を食べました。でも、今度はそうなるわけにはいきません。実行委員である私が人一倍声をだし、クラスの皆を引っ張っていくにふさわしい存在になれるよう頑張ります。この夏私は、これまでにない努力をし、達

成感を味わうことができました。東中祭ではその達成感をクラスみんなと味わいたいと思います。

「努力は必ず報われる」ならば「全力を尽くそう」この思いを原動力として今学期も様々なことに励んでいきたいと思います。